



サイジャーナル

月刊
4-11-12
第466号

日本サイ科学会 令和4年11月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|--|--|--|---|---|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097 | 中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963 | 北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034 | 関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569-FAX 06 (6624) 5061 | 九 州 〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216-FAX 092 (846) 8200 |
|--|--|--|---|---|

十二月本部例会のお知らせ

なりたい自分になる！筆跡の魔法

講師 芳田マサヒロ氏

日時 令和4年12月10日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端

(赤羽寄り)の階段を下り改

札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)

一般三千円 学生一千円

(内容紹介)

角々した文字を見て「なんかこの人頑固そう」とか、こぢんまりした文字を見て「気も小さそう」と、文字の書き手がどんな人か想像したことが、みなさんも一度はあるかと思えます。みなさんが「○そう」と感じたその感覚、実は的を射ていることが多いんです。それは、書かれた文字に書いた人の人間性の一端があらわれているからに他なりません。

筆跡に人間性があらわれるとしたら、逆もまたしかり。筆跡を変えると人間性が変わり、人間性が変われば環境も変わり、環境が変われば未来も、さらに運命をも変えていくことができる。私が「筆霊」(ふでだま)と呼んでいる筆跡診断の不思議な力は、ここにこそあります。

講演では、みなさんにサンプル文字を実際に書いていただき、筆跡特徴と性格の関係を具体的にレクチャー。さらに、UFO*オーブシンポジウムでTOCANNA賞を受賞した「宇宙人の筆跡と空間の概念」についても一考察を述べさせていただきます。

◎芳田マサヒロ氏プロフィール

日本筆跡仕事人協会代表。筆跡で個性を見抜き可能性を引き出す筆跡診断士。『SMAP×SMA P』『ノンストップ！』『月曜から夜ふかし』出演、「女性自身」「女性セブン」「週刊女性」3大女性誌掲載、ラジオパーソナリティーなど、多方面で活躍中。著書に「筆跡の魔法」(飛鳥新社)。診断したクライアント数五千人超。芸能タレント文化人コンテスト2020グラン

今月号の記事

- ◎十二月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎関西日本サイ科学会十一月研究集会(ネット配信)のお知らせ
- ◎第13回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎第47回宇宙生命研究分科会予告
- ◎第6回占星学と運命創造学の研究分科会のお知らせ
- ◎令和3年12月本部例会の報告Ⅲ
- ◎第四六九回関西サイ科学会報告
- ◎インド・ヨーガ紀行Ⅱ(サイの広場3号アーカイブ)
- ◎意識が物質化して、物質の作用を助けている
- ◎宏観異常現象観測で地震予知ができるか

一般の御寄付御礼

(10/10受領分まで)

金一万円也

森安 政仁 様

関西日本サイ科学会十一月研究集会(対面／オンライン)のお知らせ

憑依診療の進歩く死霊、生霊、妖怪、宇宙霊く

講師 橋本和哉氏

(医師、はしもと内科外科クリニック院長)

日時 令和4年11月19日(土)

13:30

会場 まつむし音楽堂にて対面、またはオンライン視聴

定員 (会場参加) 20名(20名を超える場合はオンライン参加となります)

受講料:(会場、オンライン共)

一般 三千元 会員 二千元

学生 一千元

※講演終了後、講師を囲んでの懇親会を予定しています(10名。会場は「わのわ」、参加費3500円、当日会場で申込を受け付けます)

※関西日本サイ科学会サイト「研究集会」頁にある「受講のお申込みはこちら」ボタンをクリックし

てお申込みの上、受講料を11月18日(金)正午までに同頁掲載のゆうちょ銀行口座までお振込みください。

●申し込みを受け付け、入金確認後に「URL」をメールで送信いたします。

【オンライン受講について】

受講にはPC、スマホなどインターネットが受信できる環境が必要ですが、たとえば「YouTube」が視聴できればほぼOKです。

◎橋本和哉氏プロフィール

大阪府生れ。大阪大学医学部大学院修了。医学博士。医療法人春鳳会(はしもと内科外科クリニック)理事長。内科、神経内科、漢方などを専門とし、臨床に医療ヨガや氣功を取り入れ、独自に開発した氣当て診断、天賜氣功で原因不明の疾患に対処やすスピリチュアルな診療もしている。神経学会専門医、東洋医学会専門医、内科学会認定医、温泉療法医、NPO癒しと健康ネットワーク理事長、日本サイ科学会理事、関西日本サイ科学会副会長、ホリスティックスピリチュアル医学研究会理事。著書に「医師が語る霊障」(創芸社)ほか、医

療ヨガに関する書籍多数。

講演内容

平成26年の私の憑依に関する講演会では、数分で改善させるトラウマ、蓄積感情、霊障をテーマに、また平成29年には憑依診療の進歩をお話ししました。いずれも多数来席いただき有り難うございました。

平成29年から時間も経過し、さらに多数新たな知見も蓄積されました。和田会長からの依頼で、今回は私のさらに進歩した憑依診療の内容をお話しします。

扱う憑依の対象は、死霊、生霊、妖怪、宇宙霊などですが、それぞれの憑依が細分化され、憑依体からの意識による攻撃、呪いのお話、対処法などの知見が増えました。

死霊については、これまで悩める死霊とそれを成仏させる方法、悪意を持った悪霊のお話でしたが、さらに厄介な憑依として怨霊があります。その人のご先祖のどなたかが怨まれて子孫にトラブルが起るケースや、その人の過去世で怨まれ今生でも攻撃されるケースがあります。怨霊に憑依されると人生ごとく上手くいきません。

相談を受ける中で怨霊のケースはとて多い事が判明しています。しかし怨霊と診断できる霊能者はごく少数で、何処へ行っても原因が分からないとされるケースも多いです。

またご先祖が憑依して来ることもあります。ご先祖からの意識だけが来る場合、左とか右ばかりの障害など特異な症状が出ます。ご先祖供養と思っても未だ成仏されていないご先祖の場合は、お坊さんがお経を唱える、お墓参りするだけでは、ほとんど効果が無いことも分かってきました。

生霊(いきりょう)は人からの強烈な意識だと以前は思っていました。強烈的な意識が生霊は少し違ふことが分かってきました。一般の方が生霊と言っているのは強烈的な意識の場合がほとんどです。しかし本当の生霊も少しですがあります。強烈的な意識エネルギーがあたかも生きています。独自の意識を持ち始めるのです。まるで死霊のように振る舞います。生霊が独自に意識を持ち始めるメカニズムは強烈的なトラウマの元で別の人格を作り出す解離性人格

障害の症状に似ています。それぞ
れの二つを対比させながら、人か
らの強烈なエネルギーが意識を独
自に持って生霊となるメカニズム
を考察します。

妖怪憑依は多くの方が知らない
だけで現代社会でも蔓延（はび
こ）つています。毒親や自己中心
的な（異常な）人にも潜みます。
一見、社会的に成功しているよう
に見える人にも存在します。妖怪
は他の霊的存在に作られる場合や
元は神様だった存在が妖怪化して
いる場合もあることが分かっています。
妖怪を後ろで操っている
場合や妖怪から意識攻撃される場
合、傀儡（自分のダミー）を作っ
てそこから攻撃してくる事も分か
りました。まるでアニメの世界を
見ているような気がします。

宇宙霊は他の憑依とは違う奇妙
な憑依の仕方します。静かな感
じやベトーとした感触などです。
こちらも宇宙霊と知っておかない
と何なのか分からないことになり
ます。

いずれもその実態と対処法を実
習を交えてお伝えします。

なお、憑依されやすい人はス
ンコールなどキラキラした物をで
きるだけ複数、多数、身に付けて
参加くださいますようお願いしま
す。

今回の会場はまつむし音楽堂2
階で対面参加の定員は20名です。
また自分の家などでパソコンやタ
ブレット、スマホのWEBを通し
て観ることもできます。

家でのWEBを通して観る場
合、定員はありませんが、音楽堂
で参加される場合は定員がありま
すので、ご希望の方は早めに申し
込みされることをお勧めします。
（講師記）

◆ ◆

第13回スピリチュアル研究 分科会

憑依現象と霊障の解決法

講師 小林永周氏
（心霊現象研究者）

日時 令和4年11月20日（日）

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ8階802会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端
（赤羽寄り）の階段を下り改
札口を出て見える高層ビル
会費 会員一千元（当日入会可）
一般二千元 学生一千元
*当日会場にて直接、現金にてお
支払い下さい。

現代社会は自死、自閉症、家庭
内暴力、人格変容など、若い人た
ちが急増して深刻な社会問題にな
っています。それは様々なフラス
トレーションにより、医学的には
精神疾患が要因と指摘され、憑依
現象は主に感応精神病かヒステ
リー性人格乖離とされています。
一方、心霊研究の立場では、憑依
現象が全て霊障とは言えないが、
可能性も否定できないと考えてい
ます。

憑依現象の取材現場を通して、
様々な霊能者による「憑依現象と
霊障の解決法」について、ビデオ
映像をご覧頂きます。

さらに今話題の悪徳霊感商法に
騙されない為に、その注意点をも
考えていきたいと思えます。

第47回宇宙生命研究分科会

第10回異能科学会議

テーマ「森羅万象…生命・虚空・
黄金持統」

日時 令和4年12月18日（日）

午前10時～午後4時30分

会場 滝野川会館 小ホール
交通 JR京浜東北線上中里駅東
口下車徒歩7分、東京メト
ロ南北線西ヶ原駅下車徒歩
7分、JR山手線駒込駅下
車徒歩10分

参加費 一般一千元
サイ・サトル会員、学生、60歳
以上一千元

宇宙人0円（但し受付の要認可）
※事前参加申し込みは不要です。
※当日会場にて直接、現金にて参
加費をお支払い下さい。

森羅万象・宇宙を時間＋空間
（時空）とはみないで、虚空＋時
空とみてはいかがでしょうか？

テーマを「森羅万象…生命・虚
空・黄金持統」として、多様な領
域から森羅万象・宇宙を眺めてみ
ましょう！ 会場は北とびあでは

なく、滝野川会館でするので、お間違いないようお願いいたします。

皆さん、是非とも一年の締めくくりをこのシンポジウムで有意義にお過ごしください！

第6回 占星学と運命創造 学の研究分科会

2025年から始まる大変革の時代とは？
個人別月運チャートの配布と診断

講師 瀬尾 泰範氏

日時 令和5年1月15日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ8階802会議室
J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端

(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 一千元(当日入会可)

一般 二千元 学生 一千元

※定員がありますので後述の★欄
をご覧ください。ご参加予約願
います。

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

講演内容

現在、書籍や様々なメディアで2025年に「大地震が来る」とか「大災害が来る」という予言や予想がされております。

確かに、2025年には天王星、海王星、冥王星が新しい星座に入り、これらの「トランスサタニアン(土星よりも外側を公転する惑星)」は、1星座を通過する期間が長いので(7年～20年位)、その地球や世の中に与える影響力は加算されて、強力になります。

例えば、天王星が自分の支配星座の水星座にあった1996年～2003年には、天王星が象徴する科学・技術と通信、フラットなコミュニケーションと関係性に関わるインターネットが世界中に普及しました。

また天王星は地震に関わる天体でもあります。3・11東日本大震災のほぼ当日に、黄道12星座の起点である牡羊座に入宮しております。

海王星が支配星座の魚座にある2012年～2025年には、

海王星が象徴するUFOやサイ・スピリチュアルな現象・研究に人々の関心が向いております。

2025年には、天王星、海王星、冥王星の3星がしばらくの間、特別なアスペクト(周波数に関わる)を形成します。

ということ、トランスサタニアンの新星座入宮と特別なアスペクト形成等を考慮しながら、瀬尾の関心のある未来予測も含めて、占星学的視点から2025年からどういう時代が始まるかについて解説致します。

また西洋占星学の先端のハーモニクス理論に基づく当会独自の「アストロハーモニックチャートS」(月運チャート)を使って、参加者の運勢診断を致します。

参加者個人別に今後18ヶ月の月運チャートを配布して見方を説明し、自由に質問を受けながら、個人の運勢診断を分かりやすく解説致します。

さらに水星、金星、火星、木星、土星の2022年1月～2023年6月にかけて、それぞれの星が通過する星座運行による、比較的

短周期の環境運の見方と対処法も解説致します。

参加ご希望の方は以下★の2つの欄を見て、お申込み願います。

◎瀬尾泰範氏のプロフィール

静岡県清水市(現静岡市)生まれ。西洋占星学を40年以上研究、かつプロとして診断もし、70年代に英国のJohn M. Adley氏が提唱したハーモニクス理論を発展させて、独自の「アストロハーモニックチャート」を使い、パーソナリティや才能、運勢等の新しい診断法を確立した。

一般人レベルの念動力も測定できる「サイポテンシャルメーター」を開発し、PK・ESP能力の養成も指導している。

「アストロハーモニック」、「才能開発研究所」を主宰、日本サイ科学会理事。

著書「来たるべきアクエリアスの時代」(1985 潮文社)、「自分の隠れた才能が見つかる本」(2005 ソフトバンククリエイティブ)

★既に分科会に参加されて、当会

のホロスコープ（出生天宮図）をお持ちの皆様へ

分科会では参加者ご本人（あるいはご子息等）の月運診断チャート18ヶ月分を当日配布し、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和5年1月11日（水）までに「1月15日分科会参加希望」と書いて

info.23@astro-h.com宛てにメール送信いただくか、日本サイ科学会の公式サイトの「問い合わせ」フォームからお申込み願います。

★初めてご参加の皆様

参加者ご本人（あるいはご子息等）のホロスコープ（出生図）と月運診断チャート18ヶ月分を当日配布して、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和5年1月11日（水）までに「1月15日分科会参加希望」+以下の出生データを書いて

info.23@astro-h.com宛てにメール送信いただくか、日本サイ科学会の公式サイト「問い合わせ」フォームからお申込み願います。

※ご自分のチャート以外に追加のチャートをご希望の方は、その方

の出生データを追加願います。（料金は一人につき+10000円です）

☆出生データ☆

◎氏名

◎氏名の読み方

◎メールアドレス ◎電話番号

◎西暦での生年月日

◎出生時刻（午前・午後○時○分まで分かれば、より診断が正確になります。分からない場合は不明と記してください）

◎出生地（都道府県・郡市区町村・町名と番地まで分かればベストです↓こちらで緯度と経度を出します。）

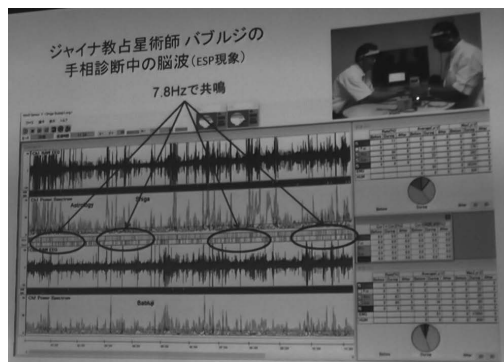
令和3年12月本部例会報告Ⅲ

ESSPやPK現象を脳波で解明する！

講師 志賀一雅氏

インドのジャイナ教で最高の占星術師バブルジが手相診断をしているときの脳波を測定しました。やはり7・8Hzでの共鳴がよく

出ております。

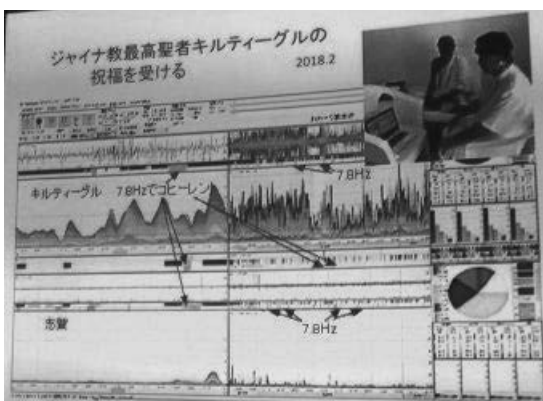


バブルジはクライアントの手相を見て生年月日と出生時刻が分かるというのです。どう説明を聞いてみても、手相からそういう情報が読み取れるとは思えないのですね。ということは脳の中の情報を引っ張り出すというわけにもいかないのでしょうか、両者はバンアレン帯の電磁波の中に入っていますから、それを通じて情報が取り込めるのですね。

出生時刻を当てるのは日本では無理だが、インドでは分単位でできると言っていました。「なぜだろうな？」と思いましたが、赤

道近辺のインドではバンアレン帯が厚いということがあります。

バブルジの紹介で、ジャイナ教の最高聖者キルティイーグルにお会いして、「祝福」を受けるように手配していただきました。せっかくのチャンスだから、脳波を測つてということになりました。



キルティイーグルは91歳だそうですが、本当かどうか分かりませんが、通訳のお話ですと、この方は8年間全く物を食べず、寝ないそうです。そして信者が来ると「祝

福」をされるそうです。それでも生きていけるんだということですよ。

キルティイーグルと私の脳波を同時に測定しました。

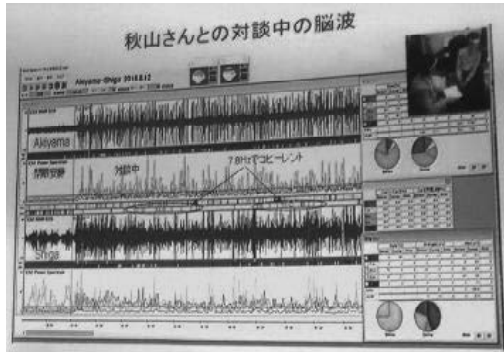
同じスケールで表示すると、私の脳波はかなり低いのに対して、キルティイーグルの脳波は非常に高く出ております。ただ、二人の脳波は7・8ヘルツでコヒーレント（位相が揃う）しています。

キルティイーグルは多くの信者の病気を治したり、貧困から救うという助ける力があります。91歳という高齢であって物も食べていないということですから、やはり空間の力を利用しているということだろうと思います。



日本サイ科学会の本部例会でも講演したことがある弁護士秋山佳胤氏も不食ですが、敢えて断食

しているわけではなく、食べたくなから食べないのであって、いくらでも食べることはできますよ、と言っておりました。気が付いてみたら6年間不食を続けているということでした。水も飲んでいないというので、ともかく脳波を測らせてもらいたいとお願いしました。



秋山さんの講演会に出て、見ておりましたら汗を一杯かいてるので、「水を飲まないで、なんでそんなに汗が出るのですか？おしっこもするのですか？」と質問しましたら、いとも簡単に答えられました。

「ええ、しますよ。」

「空間には水分が一杯あるので、皆さんのご家庭にも除湿機があつて、1時間も稼働させれば1リットルの水分が取れるでしょ。それと同様に皮膚の細胞はいくらでも水分を補給できる。それが血液の中に入って水を飲んだのと同じようなことになります。」

なるほど、そう言われてみればそうかもしれませんが、秋山さんの脳波と私の脳波と一緒に測らせてもらいました。(上図)

上段の脳波が秋山さん、下段の脳波が私です。二人がしゃべっているときの脳波ですので、ノイズも入りますが、私の脳波はベータ波が強く出るのに対して、秋山さんの脳波はベータ波が少なくスローアルファ波それも7・8ヘルツが強く出ております。

最近結婚されたので、食べ出してるかもしれません。

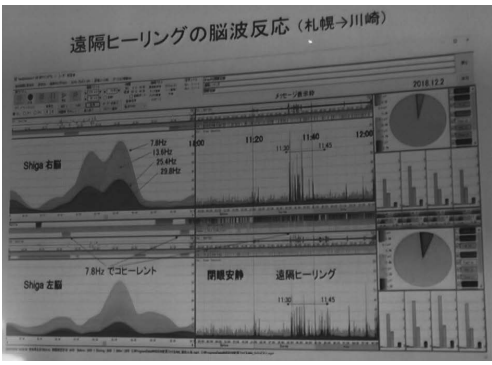
私は普段7・8ヘルツの脳波は出ないのですが、秋山さんと同時測定していると、7・8ヘルツのスローアルファ波が出るようになりました。それで嬉しくなつて、

秋山さんとの脳波測定後、事務所に戻ってすぐ自分の脳波を測定したのですが、7・8ヘルツの脳波は全く出ないのです。秋山さんの側にいると出るので、共鳴・誘発されるのでしょね。

指導者がいて弟子がいて、本当に心から信じて言われるとおりにやったら、成長するのと同じですね。

遠隔ヒーリングのメカニズムですが、電離層から7・8ヘルツのプラズマ振動が来ているので、ヒーラーとクライアントが同じ周波数になれば、チューニングして情報のやり取りができるでしょう。

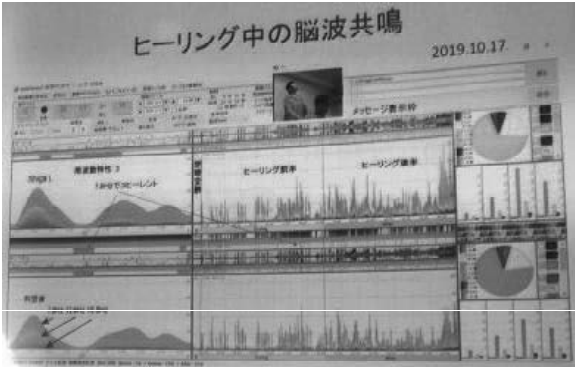




札幌にお住まいの遠隔ヒーリングや遠隔リーディングが得意な方に自宅にいる私にパワーを送ってください、とお願いしました。私の脳波をその日の11時から12時に冥想しているとところを測定し、ヒーラーにはその間の15分間、気を送ってください、と伝えました。

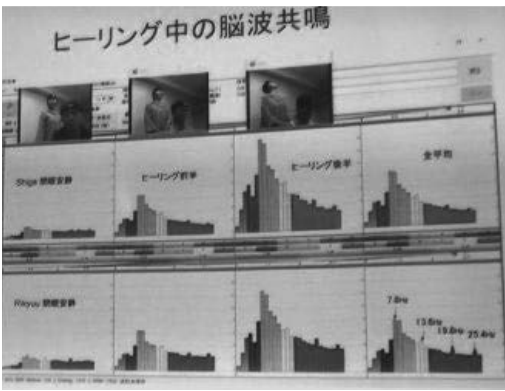
ヒーラーは11時30分から11時45分まで気を送ったと後から聞きましたが、図を見ると私の脳波のリ sponsions 時間が気を送られた時間とほぼ一致しています。

後日ヒーラーの方が上京されたとき、お会いしてすぐ脳波を測定



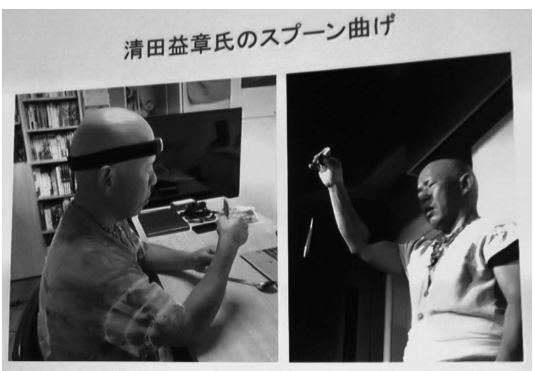
させていただきました。私とヒーラーの左脳の脳波を同時測定しました。左図のようにヒーリングを前半と後半行いました。この図で7・8ヘルツでコヒーレントしているところが沢山あります。きれいに位相が揃うということは、気が合うということだと思います。

フィルターをかけて、4種類の脳波を増幅して表示したところ(左図の右側の棒グラフ)、やはりバンアレン帯の電磁波と同じ周波数でやり取りしていることが分かりました。



4種類の脳波の周波数は、F1 .. 7・8 Hz、F2 .. 13・6 Hz、F3 .. 19・8 Hz、F4 .. 25・4 Hzです。

左図(上が私の脳波、下がヒーラーの脳波)を見ますと、7・8 Hzのスローアルファ波で共鳴することは以前から分かっています。脳波が共鳴しているのです。いろいろな方への遠隔ヒーリングがこういう形でできるのであろうと思います。ヒーラーの方が帰られてから私の脳波を測定してもこのピークは出ません。

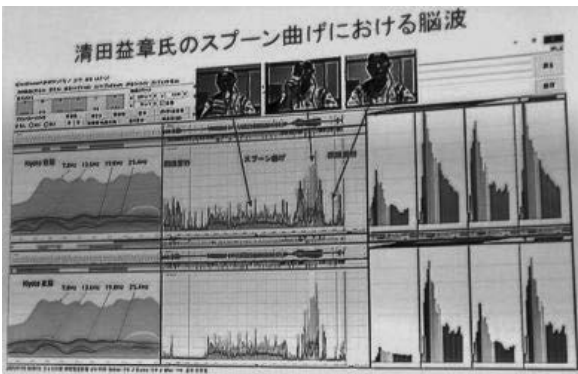


清田益章氏とは40年近いお付き合いですが、最近ではスプーン曲げというより、スプーンの頭をしばらく持つていると、首の所に亀裂が入りちよつと振るだけで柄が落ちるのです。

(動画再生)

そのときの脳波を測りました。

閉眼安静状態で全体的に右脳の方が左脳よりパワーが強く出ます。そして7・8ヘルツのピークが非常に高く、その他の3つの周波数も高くなります。



清田氏がパフォーマンスをしているその場にいて、多分参加者の全身の細胞は影響を受けると思っています。

私も7年前にこぶし大の大腸ガンをできましたが、なぜか消えたのは彼の影響があると思います。

◆ ◆

第四六九回関西日本サイ科学会研究集会(オンライン)の報告

—宇宙人との遭遇—

講師 徳授院愛氏

日時 令和4年9月17日(土)
会場 まつむし音楽堂

徳授院講師は、通常目に見えないものが見えるという特異な体質のために幼少時から多くの苦労を背負って生きてきました。霊視と現実が交叉した職場での体験を経て現在はエステ、整体師として自立、ご活躍です。関西日本サイ科学会では、とくに「宇宙人との遭

遇」についてお話しを伺うため9/17(土)の研究集会にお招きすることになりました。オンライン講座となりますが文字による質疑応答は可能です。インタビュアーは本会会長、和田高幸(元産経新聞記者、「未知の彼方へ」・神秘のUFO写真集の著者)が担当します。

*資料として体験レポート(全文)を添付いたしますのでご覧ください。

私は母が霊能者、父がサイキッカー(千里眼)の元に生まれたせいか、家族全員が普通の人には見えていないモノが見えていると言った状況が当たり前の生活を送っていたので、見えていない生活がどんな感じなのかを知らずに過ごして来ました。人と見えている世界が違う?という事を知ったのは、20歳の時です。

当時私は、ある大手電機メーカーに勤めていたのですが、その場所は霊道と言われる、霊の通り道になっており、兵隊さんやお待さんなど色々な方が通る場所、ある時間になると、いつも私の横をお待さん御一行が通りすぎるので

す。

私は営業部門におりましたので、フロアにはセールスの方達の机などが沢山あって、通りを塞いでいたのです。(色んな人が通るのに、何で通り道を塞いでいるのだから?こんな事をしていたら、邪魔になって怪我するのになあ?)と思いつつ、過ごしていましたが、ある日、お待さんの御一行に業務をしている皆の前で、私は椅子ごと突き飛ばされて、ポルターガイストの様な事件が起きました。

上司がビックリして「今の出来事は何だったのか?」と、聞かれたので「此処はお待さんの通り道なので、此処を机などで塞いでると、この筋に座ってる人達が怪我をしたり病気になるですよ」と、言ったのですが、その時は取り合って貰えませんでした。

日が経つ内に私が言ったとおり、その筋に座っていたセールスマン達の身に、次々と体調の変化が起こり、営業に大きくダメージを与える迄に発展しました。

上司は私の言っていた事を上層部に相談したのでしょうか。私は当時の事業部長に呼ばれ、対策はどの様にしたら良いのかと尋ねられ

ましたので、土地建物のご祈祷を勧めた所、GWに出雲大社から宮司を呼んで、大掛かりなご祈祷が行われました。その結果、何も無かったかの様に事は収束しました。

その当時、同期だった友人には日頃から、自分が見えている事を普通に話していたのですが、この友人のお父さんは実は本を書いていた程の霊能者でした。

当時は今の様に「スピリチュアル」は、まだ理解されていない状況でしたので、友人はお父さんが霊能者である事は秘密にしていたのですが、私の事をお父さんに相談していた様です。その事件があった事で、友人は私の身を案じ、そのお父さんに会う事になりました。

会った時、色んな写真を見せられて「此処に何が写っているかな？」と聞かれた私は、見えるままを答えたのですが、お父さんが「自分が他の人には見えていないモノが視えている事を分かっているか？」と色々な説明を受け、初めて、自分が今まで普通に視えていたモノが他の人には視えていない世界だったのだと知りました。

「この子は、このままだと、これからの世の中を生きにくいだろう」という事で当時から、霊能者として人助けをしていた友人のお父さんの元で修行をさせて頂く事になりました。

思い返せば、小学生の頃「嘘つき」と言われ、イジメに遭っていた「嘘つき」と言う内容は、他の人には視えていなかったのだと、この時にやっと理解出来た訳です。霊能者のお父さんは、真言密教の先達もされており、ご自宅には大きな、お不動様をお祀りされていました。私も小さなお不動様を祀らせてもらい、加持祈祷の方法や除霊、浄霊、土地神さまの出し方など、本当に様々な事を教えて頂きました。

修行中、苦勞？かどうかは分かりませんが、体調の悪い人が来ると事前に私の体に異変が起こり、依頼者の代わりに、噴水の様にリバスしたり、寝込んだり、妙に悲しくなったりする事があり、その事が有ると依頼者の体調や精神状態が好転すると言う事が数年続いた事があります。

霊能者のお父さん曰く、当時の私の体質が、相談者の悪いモノを

自分の体に取り込んで、浄化すると言うタイプだったそうです。修行のお陰で図太くなつたせいでしょうか？今ではその様な事は起こりません。(笑)

私が35歳の時に、霊能者のお父さんが倒れられ、何とか助けたい一心でご縁を頂いたのが、神さまの先生でした。初めてお会いした時、「あんな、仏さんの修行は終わりや、これからは神さんの修行をしなさい」といきなり言われ、当時、仏さん？神さん？の違いもよく分からなまま、その方の元で神様修行をする事になりました。神さま修行を10年程続けていた頃、ある組織が先生の元に来た事で、突然、私は神さま修行を卒業する事になりました。25年に渡り、神仏の修行に携わって突然目標を失いました。スピリチュアルな事で脅されたりしました。

神仏とは？スピリチュアルとは？とは何だろう？と思っていた頃今から、10年程前です。

その頃からです。自宅で寝ていると、妙に暑く寝ている横で、大きなタイヤの様なモノがグルグル回っていて、恐くて薄め目を開け

ると大きな目が時々見える。それが龍でした。

ある時、寝ていたら目を閉じているのに、突然ピカッと眩しくて、目を開けたら、カーテンの隙間から一筋の光が出ていて、それが眉間に当たっていたのです。カーテンを開けると、大きな満月に見えたのですが、私は視力が0.01なので、もしかしたらUFOだったのかも？と思います。

その辺りから、寝ていると緑色の50センチくらい？の宇宙人？小人？が部屋に現れたり（怖くて薄目開けて、身動き取れませんでした）今でも、夢だったのか？ハッキリしませんが・・・。

その数ヶ月後、寝ている時に、又、眩しい光で目を開けると、自分は幽体離脱した状態でベッドから起き上がっており、目の前にホログラムに浮かぶ3人の姿がありました。

その方達は、不思議と怖くなくて、直ぐに宇宙人だと分かったのですが、身動きも取れないし、宇宙語も分からないので、どうしよう？と思っていたら、急に頭の中を広がる様に、感情？言葉？が伝わって来ました。（安心して下さ

い。あなたに危害を加えるつもりで来たのではありません」と。

ボー然としている私に、その中の一人(男性ぽい)が、私にスーッと近付いて来て、私の身体をすり抜けて来たのです。すり抜けた瞬間、ベッドに横たわっている、私の肉体が上下にリバウンドしました。余りの突然の事に、声も出さず、驚きも束の間、もう一人が近づいて来ました。

恐怖で気を失ったのか？気がついた時は朝でした。ただ、記憶は鮮明で身体をすり抜けられた瞬間の生々しい感触も今でもハッキリと憶えていて。何だったのだろうと・・・。

そこから、一週間程経過したある日、目覚めた時に(あれ？世界が変わった?)と。周りは何も変わってはいないのですが、何故か、妙にそう感じました。

不思議な体験をして、大きく変わった事は、感情の変化が無くなったことです。フラットになったと言うか、クールになったと言うのでしょうか？天変地異を感じたり、神仏修行していた頃とは違う世界観になっています。

あと、宇宙人遭遇体験して一番

ビックリしていることは、主人が入れ替わったのか？別世界に来たのか？と言う位、主人が変わった事です。(笑)

仕事は、自分の能力(特技)を活かして、エステと整体をやっております。口コミのみで、色んな方のご相談をお伺いしています。

最近では、UFOと繋がっているのか？来てくれているのが分かる様になって、毎日の様に観ます。

この広い銀河系で沢山の星があるので、地球外知的生命体は沢山存在していると思います。この地球と言う一つの惑星ですら、色々な人種や考え方がいるので、勿論、地球外知的生命体の中には、地球人に対して友好的でない人種も存在するかも知れません・・・。少なくとも、私が体験した事は地球人に対して友好的な存在で有ったのでは？と思っっているので、交信し出来たらなあと思う日々です。

最近の活動で、地球の異常気象に伴い、薬草、野草の使い方を知らせてもらいたいと皆に伝えていまして。

それと、一般に表に公開出来ない様なUFOの動画を撮っていま

す。この間、UFOを観た後、車を当てられたのですけど、その時も、不思議な事が有りました。宇宙人と遭遇体験をした後、実家の母に会った時に、母が私を見て、「横に居てる銀色のキラキラした方は、どなた？」と言われて、ビックリした事もあります。

当時、母は88歳でしたが、母もオレンジ色に光るUFOが来た！と言っていました。また、昨年12月14日の午後17時50分過ぎ頃。ターゲット？ワームホールを見ました。ありがとう。



サイの広場第3号(1985年4月発行)アーカイブ

インド・ヨーガ紀行Ⅱ

実藤 遠

仏教にも正法・像法・末法の思想があり、聖書や黙示録にも終末論がある。たしかに21世紀を前にした一九八〇年代は歴史の大きな転換期であることを、多くの人が

認識している。ただし人類の三分の二は滅亡し、あとは助かるというような世界観には全く反対である。すべての人が明るい21世紀を迎える方法こそが今こそ望まれるのである。社会や歴史や文明にも誕生↓生成・発展↓老衰↓死滅のサイクルは厳然と存在していて、この法則を免れることはできない。一人でも多くの人が「本当の自分とは何か」ということを認識し、実は肉体ではなく平和な魂としての自分だということに気づくこと、またこのような世界観が確立したときには、平和な21世紀を皆で迎えられるのである。その意味でこの歴史観は大いに参考になった。

人間はある種の鉱物状態(物質状態)で生命力も感情も潜在状態↓植物状態(生命力が顕在化)↓動物状態(さらに感情が開花)↓物質・生命力・感情・自我にめざめた人類として進化してきた。次の時代は現在超感覚とか超能力といわれているものもろの資質が顕在化する時代である。このとき人間は過去、現在、未来の自分がつきりとわかり、死の恐れなどもなくなるであろう。

またサイ科学という未知のエネ

時の過度の戻り、これ等は通常の力学変形には無い現象である。

つぎに硬さ変化をみる。熱的には最も安定な焼き鈍し材にサイ(気)を作用させると、より柔らかくなる。これは、サイ(気)が極小粒【光子対】なので結晶粒内の原子を素通りして結晶粒界に達し、結晶粒界にあるヒズミを緩和することによるのだろう。このことは、応力ヒズミ曲線にも現われている。つまり、変化曲線のサイ(気)による異常性にも、同一現象(軟化、硬化)が現れている。このことは、さらに破断面にも表れている。つまり小範囲の切断面内に延性波面(デンプル)と脆性破面(ブリットル)が多数表われている。以上、サイ(気)を作用させたときの多結晶材料に現れる異常性は、サイ(気)が極小粒であること、ならびにサイ(気)自体がヒズミを除去する性質がある為であると判断できる。なお、この現象は、日本の少年たちの念力の場合には「+30%【硬化】～-30%(柔化)

程度]であった。

「念写と透視」現象は、1910年に福来友吉博士によって発見された。先生は、「念」は願いをもったエネルギーとして時間や空間を超えて宇宙全体に広く充満していると主張した。つまり意識の一部は体外に放出されて、「念」として機能している。量子脳理論で著名なロジャー・ペンローズ(英、1931～現在)は、2020年度のノーベル物理学賞を受けた。そして、「意識は原子の振舞いや時空の中に、すでに存在している」と説明した。これは、福來說を理論的に確認したものと受け取れる。著者らは、2021年に意識(ASC下)と物質の関係を提案した(次号参照)。

(注記) 本研究に先行して宮内力、福田豊、岡先生の「光湧き出し」実験がある(清田益章氏対象)。お世話に成り、ご指導戴いた品川次郎先生にお礼もうしあげます。

ルギーとは肉体や物質とハーモニしている、生きとし生けるものを生命あるものとさせている、高次元の世界と直結しているエネルギーである。現在の科学でも「生体プラズマ・エネルギー」といつているエネルギーである。

サイ科学は決して現在の科学と対立したり否定したりするものではない。現在の科学ではわからない未知のものは無数にある。事実サイエネルギーを未知のエネルギーといっている。未知ということは何らかのエネルギー現象があるからこういっているのである。

現在の多くの科学者のとつている態度、物質現象以外は認めないという態度はもちろん転換しなければならぬ。しかし、最近いわれたニュー・サイエンスは、物質とともに意識を研究対象にとりあげ、全体と部分との統合の観点から万物をみようとしている。

サイ科学も不可視なものである。と未知のものであろうと、現象が存在する限り何でも究明していく態度が必要である。これは現代科学の否定ではなく、科学の発展であり進化であり、質的な拡張なのである。

今回学習したインドのラージヤ・ヨーガの理論や知識を、サイ科学の観点から考察すること、昨年習ってきた気功との関係からみることに、さらに他のヨーガや瞑想法から検討すること等は今後に残された問題である。紙面の都合上、および私の時間的理由(まだ十分に考えがまとまっていない)等から今回は紹介に止めておくことにした。改めて総合的に考察してみよう。

◇ ◇

クンダリニとアルタ・メージュア

ヨーガでいうクンダリニは脊柱基部にある。これに対して、アルタ・メージュア(Alta Major)は脊柱頭部にある。クンダリニ(Kundalini)も、アルタ・メージュアとともに、エーテル体の中の力の渦である。これらの力の渦はエーテル体における両極である。いわゆるPKは、エーテル体内のプラナが尾状核付近で電氣的エネルギーに変った後、アルタ・メージュアから発するものらしい。

(完)

- ①地震雲観測による予知：地下岩盤の圧電現象により、大気に高電圧がかかり、地磁気の中を帯電した水蒸気が風により、収縮する方向に集まり、上下に発散収縮の力が加わり、これが大気層の水蒸気を特異な形の雲にして、地震雲になるといわれている。そして、この地震雲を観測することにより、地震の発生日と地域を予測できるとされる。
- ②ラドン検出による予知：岐阜大学では、観測システムによりラドンの検出調査をしている。放射線医学県民健康管理センター石川徹夫博士は、1995年の兵庫県南部地震前（以下、「阪神大震災」という）に、大気中のラドン濃度に大きな変化が見られたことから、今後、ラドンを測定することにより地震予知へ活用することが可能と述べている。
- ③FM電波の異常により予測する：上空の電離層に異常が起こり、FM電波の到達距離が異なることを利用して観測し予測する。
- ④ナマズ等の魚が地電流を、ハト、カラス等の鳥は磁力を感じるにより予知する：地下岩盤に電圧が発生すると、地表に電流

が流れ地電流となるため、これを感じて「ナマズが暴れる」「へび、動物園のワニが騒ぐ」「ミミズが地表に出てくる」等の特異現象が起こると考えられている。

また、ナマズが、電気感覚に特に敏感な能力があるとされるのは、餌である小魚の捕食と、縄張りに対抗するため同類のナマズの電位を感じる感覚が（浅野はナマズの電気感覚が、10～20 H Zの電場に強く反応するとしている）、他の魚類より鋭くなっているためではないかとされている。

この時、地下岩盤に電圧が発生すると異常に磁場が発生することから、ハト、カラス等の感磁能力の強い鳥は、逃げる、騒ぐという状態になるとされている。この鳥、魚の状態を見る、または観測することにより地震発生を予測する。

- ⑤動物による予知：地盤構成岩石の花崗岩等が、圧電効果により電気エネルギーを発生させ、地中の岩石層から電磁波が発生する。そして、動物達はその電磁波を察知し地震を予知するのではないかと考えられている。（続く）

意識が物質化して、物質の作用を助けている

佐々木 茂美

脳波の周波数を下げて変性意識状態（ASC）になり、強く意念する。すると、超常現象（念力、PK）が生起してくる。この時、不思議な事に、「意識（念）が物質の作用を助ける」という現象がおきてくる。もともと、精神と物質は異質であって混ざり合うことは無いはずである。

他方、「透視と念写」の原因は、陰陽サイ spin 対【光子】「略称：サイ（気）」の作用であることが判明した（佐々木、佐藤、2018年）。サイ（気）は、変性意識状態（ASC）に入った能力者から体外に放出され、意識体を形成する。このサイ（気）が、物質としての「【光】現象」ならびに「金属（鉄、アルミ）変形現象、

硬さ」に対して、どのような変化を与えるかについて、検討した。（物質としての）電磁波（ON、OFF）と、（意識体としての）「サイ（気）」の関係をみる。電磁波とサイ（気）は光の一種なので、相性が良い。両者の間には単純な加算則が成立している。他方、一例として、金属を見る。金属の降伏点付近が念力（PK）の発生点に相当し、力学変形に重畳する状態で、PK変形が進行している。0.07% C 軟鋼板で、熱処理は真空中の焼き鈍し。99.99% A1 圧延材、真空中焼鈍材。何れも多結晶体である（サイ科学、Vol.1.No.2、1976、等参照）。PK変形の特長は、階段状変形のある事で、負荷時の階段状並びに除荷

また、ソ連のドワーロフ博士は、テレパシーは脳から出る電磁波であると述べている。

鮭が、誕生した川へ回帰すると言うことについては、現在の説明として生まれた川に帰るのは「川の臭いで」と言われているが、多くの川の水の流入して混ぜられた海水の中から、どうしてその川の水だけを選別できるのか。

そして、鳩は磁気を感じる細胞の能力が高く磁気を感じて、又、紫外線を見て、地形を認識して巣に帰る等と言われるが、なぜ磁気をも狂わせる電磁波の多いビル街の巣へ帰れるのか。

渡り鳥では、他のグループと連絡もしないのに、時季、月日を同じく、しかも、遠い距離の道を間違えず同一種族と一緒に移動していることについて、気温、風、太陽を見て、果ては星を見て移動する等と説明がされているが、渡り鳥達にそれだけの天文学の知力が本当にあるのかと考えてしまう。

これらについて、本能だと一言でくくってしまえば簡単だが、今の科学は一応、答えを出しているように考えられるけれど、十分に説明出来ないことが多くあり、先ほどの「大霊の声で、高いところに巣を作りなさい。一緒にこうしなさい」と言われ、動物達が素直にそれに従い行動する」と解釈する方が、非科学的のようだが分かり易い回答になるのではないと思われる。

幾つかの事例を挙げてみたが、動物達は生活の中で生死が日常にあるため、火事、地震、また敵の攻撃を未然に防ぐためのある種の能力を必要とし、そして家族、種族のもとへ帰り、子孫、種を増やしていく行為に必要とする人間から見たならば、超能力と言われるものを普通に持っているが、その能力は人間が進化過程で遠い昔に忘れてしまっているものなのであろう。

次に、地震についての動物予知を含めた宏観異常現象についてみると、地震国である我が国は、地震の研究及び観測を実施しているが、冒頭に述べたように未だ地震の予知はされていない。

だが昔から、「地震の発生する前に、ネズミが居なくなった」「不思議なほど、魚が大

量に獲れた」「井戸の水が枯れた」「天空に、異変が見られた」等の地震予知と思える伝承があり、言い方を変えれば地震予知となるのだが、これら事例については枚挙に遑が無い。

そこで、宏観異常現象といえるものは地震の予知としてはたして可能か、どうかについて、予知現象とされている動物の予知についていくつか調査したものを報告する。

動物の地震予知1

過去に発生した世界の地震発生情報から、動物がどのように地震を感じたかについてみると、その中で動物が地震を事前に予知していたと思われる事柄が多いが、なぜ、地震が発生する前に探知できたのか(動物が、感じていたと思われる反応)、各地震例をあげて述べたい。地震は、一般的に地殻の上部マントルのプレートにひずみが生じ地震波となり、大地に振動を起こすと考えられているが、世界的に地震の予知は不可能とされ、メカニズムはまだ十分に解明されていない。

歴史的な地震発生記録を見ると、416年7月に奈良で発生したと日本書紀に書かれており、これが史記に記載されている最初の記録となる。

また、976年に京都中心に発生した地震は、御所、寺社等の倒壊等被害甚大であったためか、天禄から貞元に年号が改元されている。

規模では、1596年近畿地方で発生した地震が、4万5千人以上の死者、伏見城天守閣、方広寺大仏殿の倒壊をおこしている。

この様に、地震は大地が揺れる、損壊があるのはさることながら、多くの死者も伴うため、昔から恐れられている災害のため、地震予知について、日本だけでなく、外国においても、いろいろな角度から研究されているところである。

次に、地震予知を証明するといわれるものについて、各々研究されているところであるが、弘原海(わだつみ)清理学博士は、地震前の犬が鳴く、猫が騒ぐ、月の色、又、雲が異常等の宏観異常現象の調査研究を進めていき、地震前の動物の異常行動等を地震予知として活用すべきであると提言している。主な宏観異常現象からの予知としては、

者は国内外を問わず動物の地震予知については懐疑的であり、この分野における研究は充分に進んでいないのが現状である。

次に、カラスが屋根で鳴くとその家の人々が亡くなるなど、人の死を予知すると言われていた人間の死の事前感知についての検証であるが、本来動物は夜行性であるから、我々人間が太陽下で見えるカラーの世界(400~800nmの範囲の可視光線)は必要なく、夜間の色のモノトーンの色調として見え、しかし、その見える視力等はかなり幅があるのではないかと思われる。

例えば、猫、トラ等の視力は0.2程度であるが動体視力には優れていると言われており、また夜行性だけに夜間の物体を見分ける能力は人間よりは優れていることから、可視光線の見える範囲は分かっている(遠紫外線波長14~400nm、赤外線波長800~400,000nm以上の範囲)以上に見ることのできる能力が広く、そのため人間には見えない靈魂等(靈魂の波長は不明)が見えるため、カラス、犬、猫等の動物が異常な鳴き声を挙げたり、行動をしたりする時に「人が死ぬ」と言われるのではないかと推定する。

ただ、この見えるという能力も人を含めた動物が狩をし、生きていく上に必用とする能力であり、動物からすれば通常的能力であって、人間だけが太古には持っていた能力が退化したため分からない、見えないというだけと思われるのではないかと考える。

霊能者Y氏が以前話されたことだが、アリ、蜂、鳥等、巣作りの時には例年より高いところに巣作りをすることがあるが、その年は必ず大雨などが降ることが多く、それは人間の我々には分からないが昆虫、鳥などにはどこからともなく、大霊の声で「高いところに巣を作りなさい」と教えられるため、巣が水没することなく、また低いところの巣作りの年では地震などが多いと話されていた。

猫は、古来より人の心を読むためか、主人が何kmも離れていても、その場所が分かっていると言われていた。また、夜行性なので独自の世界を持つような印象を与えていて、江戸中期の「和漢三才図絵」では、10歳以上の長寿の猫の尾が2股に裂けた猫股の怪猫となって、化けて災いをなし、暗がりでは火花を

発したり、油をなめるなどの妖をなすと説明されている。

さらに、葬式で死体を奪ったり、死体を躍らせたり、犬、人を食ったりすると、林羅山の「つれずれ草野槌」に書かれている。「甲子夜話」では、高木伯仙という医師がいて、ある夜、枕元で音がするので目を覚ますと、飼い猫が首に手ぬぐいを下げ、立ち上がり、踊っているのを刀で斬ろうとすると逃げたと言う。

これらの話が芝居にもなったりして、有名になったので、以来、猫の飼い主は猫股にならないように尾を切ったり、子猫が生まれ尾が長いのが居たら、それを捨て、短い尾の猫だけを育てたので、和猫といわれる「短い尾の猫」が種類として位置づけられるようになったようだ。他に、三毛猫の雄は、船乗りが船の守り神として特に大切にしているが、これは、三毛猫に、ある種の船災害の予知能力があり船を守るためかもしれない。

ネズミでは、予知能力があるからか家が火事になる前には、ネズミが居なくなり、後で「そうだったのか」と多く語られている。いずれにしても、人間からみれば動物達は皆不思議な能力を持っていると思われる。

飼い犬、猫が飼い主の所へ戻ることに付いてだが、何キロも離れた飼い主のもとへ、何日も、何年もかかって、帰ってくる例が数多く報告されている。

これについての話は、国内、外国を問わず多くあり、心情的にはいとおしく、うれしい事例だが、帰ってくる理由は、飼い主とのテレパシー、臭い、体内磁石でなどと、こじつけて科学的っぽく説明されているが答えるには不明である。

犬、猫の帰巣本能では、飼い主とのテレパシーと考えられ、ニューサイエンティストでは、動物が一種のマイクロ波により、発信するとしたテレパシーを使うとの説が掲載されている。

テレパシーについて、「人の思考を犬が受け行動するのは、犬と(猫も同様だが)人間との共有の感受性のようなものが働いている。」とアメリカのギルバート博士は述べている。

と復旧・復興までの年数は想像をはるかに超え、経済的損失は日本が立ち直れないほどのダメージを被るのではないかと推測するが、政府はこの点については説明がされていない。

災害時では、早めに避難するための警戒警報についてだが、警戒宣言とされ、「2日から3日（または数時間）以内にマグニチュード8程度の大地震が発生し、震度6弱以上の揺れが発生する恐れがある」場合に、地震による被害を軽減させる目的で内閣総理大臣が発表するという。

東海地震予知情報は、この警戒宣言に伴って発表され、東海地震注意情報とは東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表されることになっている。

ここで、太古を見てみると600万年前から7900万年前にかけて、地球は傾いて少し横倒しになり、また元に戻っていたことが、最新の研究で明らかになったようだが、地球が少し傾いただけでも、とてつもない大地震が発生するはずで、この災害は世界規模だから、今日このような現象が発生したら想像すら出来ない被害となることは必定である。

当時の地球は、およそ8400万年前に、地球は今と比べて12度傾いていたというのだが、「12度傾くということは、それと同じだけ緯度に影響を与えていただろう」との論文の共著者であるダートマス大学の地球生物学者サラ・スロットニック (Sarah Slotznick) は、Insider に述べている。地球は、内部を粘度の高い中心部を硬い外殻が包む球体であり、中心部では半固体のマントルが、液体の外核を取り巻いている形態になっていて、そこで地球は5大陸と海からのプレートは、マントルの上で浮き草のような存在となっている。

そして、この最新研究では、8600万年前から7900万年前に、地殻とマントルが、地球外核の外縁に沿うように回転し、また元に戻っていた。

つまり、地球全体が傾いたあと、再び元に戻ったと述べている。であるから、プレートの沈み込みが地球を傾かせるだけでなく、わずかなプレートの動きでも地震を起こすことは想像に難くない。

毎年10月13日は、国連が定めた国際デー

「国際防災の日」で、世界各地では防災のための啓発活動が展開されている。国連防災機関 (UNDRR) は、世界気象機関 (WMO) と合同で報告書を発表されるのだが、災害に対する早期警報システムの適用範囲が限定的であったり中程度であったりする国は、大幅に適用を拡大した国に比べて、災害死亡率が約8倍であると指摘される。日本では、台風接近情報や地震速報、津波警戒情報、自治体の避難情報などさまざまな早期警報システムが重要な機能として位置づけられている。

だが、地震が○月○日○時頃発生するというようなことについての、予想・予報はいまだされていないのが実情である。

そこで、いわゆる科学的と言う従来のプレートのみこだわりの研究でなく、宏観異常現象を加味した地震研究を、もし行うのであれば今よりもっと予想精度の高い地震予知が可能になるのではないかと考えから、筆者は宏観異常現象について述べてみたい。

宏観異常現象

まず、動物のその特異な能力についてみると、数多く挙げる事が出来るが、その幾つかを述べてみると、宏観異常現象からの地震予知として、古来より地震の前にうなぎが暴れる、犬猫が異常行動をしたあと地震が起こったとされる現象についてだが、その地震予知については多くの説が有る。

その説の一つは、地下岩盤を構成する花崗岩等に圧力がかかり地震が起き、その時の圧電効果により電気エネルギーを発生させ、地表であれば地表に電流が流れ、他の魚類より電位を感じる能力の高いうなぎ、ワニ等が反応する。

地上においては、電磁波を生じることで、カラス、ハトなどの感磁能力の高い鳥類、犬猫等がその異常を感じ取ることにより地震を予知するのではないかと考えられている。

ただ、これは人間から見た場合、予知していると解釈をすることになるが、動物達からは、ただ普通に持っている能力で感じているだけで、感じなければ生存していけないという当然の能力であると解釈できる。

その能力について、科学的に研究している組織もあるが、今日においても国内の地震学



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

宏観異常現象観測で地震予知ができるか

三好 一郎

最近、ネット等で大地震の予知、預言者の説明等々を目にすることが多い。また、NHKでも大地震のシュミレーション映像を流し、大地震が起きた時の被害状況等について放送されているが、昔から地震、雷、火事、何とかとされているように一番怖いのが地震となっている。

確かに、大地が揺れ・裂けて大津波が生じ、地上の全てのものを流し去っていく様は本当に恐ろしい。また、倒壊家屋からの火災は、消火活動が不能であり、これは関東大震災、神戸での大火災、東日本大震災でも確認されているところであり、その被害・災害は筆舌に尽くしがたい。

今までの地震による災害は、かくのごときであるが、今注目され、いつ大地震が発生するか、どのくらい被害が生じるのかと注目を浴びているのだが、これは予想であり、ノアの箱舟と同じく「災害が来るよ」と訴えても、中々対策の行動に起こせないのが一般の人であり、政府においても「何十年後以内に発生するよ」と他人事のような論である。

この弊害は何かといえ、地震予知研究の調査方法の違いからかと思える。

それは、T大を中心とした研究では、海洋プレートの状況等にこだわるためか、多くの予算、年数をかけて調査はしていても、今後も結果は解析できても予知はできないのではないと思われる。

地震研究は、プレート調査ばかりでなく宏観現象と言われる動物、植物等地上の生物、地震雲が発生するのだから天空の調査まで、総合的に行っていけばかなりの確率で予知が

可能と思われるのであろうが、学閥の弊害がここまで波及しているためか、現実に地震予知なるものはなかなか困難となっており、今でも地震が起きた後の発表で「〇市沖海底〇kmが震源地であった」と事後報告しかされない。

さて、現実にと観れば東海地方から首都圏までを襲うと考えられている東海地震、また中部から近畿・四国にかけての太平洋側の広大な地域に被害が予想される東南海地震と南海地震だが、内閣府は、これらが30年以内に発生する確率は、M8.0の東海地震が88パーセントの確率で発生し、M8.1の東南海地震が70パーセントで、M8.4の南海地震が60パーセントになるという高い数値で発表されている。

そして、多くの人々が早めに避難した場合、津波の犠牲者は最大でおよそ80%少なくなり、建物の耐震化率を引き上げれば、建物の倒壊はおよそ40%減らせると推計している。

地震発生で最悪の場合、関東から九州にかけての30の都府県で合わせておよそ32万3,000人が死亡し、揺れや火災、津波などで238万棟余りの建物が全壊したり焼失したりすると推計されている。

また、地震発生から1週間で、避難所や親戚の家などに避難する人の数は最大で950万人で、およそ9,600万食の食料が不足するとされているのだが。

さらに、被害を受けた施設の復旧費用や企業や従業員への影響も加えると、経済的な被害は総額220兆3,000億円に上るとされている。だが筆者は、東日本大震災の事例を見る